

## 「魅力ある学校づくりプラン（素案）」に対する意見

2014年1月7日

紫垣伸也

### 【プラン全体について】

1) 「魅力ある学校づくりプラン（素案）」は、誰にとって、あるいは何にとっての魅力ある学校なのかが明確でない。この点について明確に記載すべき。

2) 「魅力ある学校づくりプラン（素案）」には、“魅力ある学校とは何か”についての学校に関わる児童、教師、児童の保護者、学校を支える地域住民の意見が掲載されていない。これら意見に基づいたプランであるならば、意見結果についてプランの中でも紹介しプランの根拠を示すべき。もし意見に基づいたプランで無いのならば、なぜ意見に基づいたプランを作らなかったのかについて区民に納得いくかたちで説明すべき、もしくは本素案を大幅改定し児童、教師、児童の保護者、学校を支える地域住民からアンケートや公的な意見交換会を開催するなどしてまんべんなく意見を収集しそれらを基本としたプランを作るべき。

### 【素案P10】

3) “本計画の期間は平成28年度から平成47年度までの20年間とし、”についてなぜ20年間という長い期間を設定したのかについて理由が不明なのでこれについて説明が必要。

4) “10年間ごとに「前期計画」（平成28年度～平成37年度）と「後期計画」（平成38年度～平成47年度）に分けます。”について、10年という長い期間で分ける理由が不明確なのでこの点についての説明が必要。

5) “※前・後期計画の中間時点前後において、学校教育や社会状況の変化に対応するために、計画の実現性について検証を行います。”について、だれがどのような検証を行うかについて不明確であるのでこれらを明確にするべき。

以上